



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和4年6月30日

(2022年度)

第4号

甲南第一小学校

温かい心で支え 認め合う仲間づくり

月日の経つのは早いもので、もう七月です。夏休みまで残すところ二十日ばかりとなりました。7月といえば、よく知られた異名として“ふづき”“ふみづき”があります。その由来として、七夕の日、短冊に歌や字を書いて書道の上達を願った「文被月（ふみひろげづき）」が転じた説、旧暦の7月が稲穂の膨らむ月でもあることから「穂含月（ほふくみづき）」「含月（ふくみづき）」が転じたという説が有力です。

その他の異名として、「七夜月（ななよづき）」「愛逢月（めであいづき）」といった「七夕」にちなんだものや、「女郎花月（おみなえしづき）」「蘭月（らんげつ）」「桐月（とうげつ）」といった「旧暦の7月頃に咲く花」にちなんだ呼び方もあります。いろいろな呼び方のある7月ですが、歌にしろ、稲穂にしろ、花にしろ、「風情」を感じさせる月を迎えました。

さて、皆さんもご存知のように「風情」という言葉には「独特の「趣（おもむき）」が感じられること」という意味があります。「おもむき」を別の言い方で表しますと「あじわい」とも言い表すことができます。前述しましたように、7月という月には様々な「あじわい」があるように、私たち人間一人ひとりにも、それぞれに「あじわい」があるものです。それを「個性」と言ったり、「持ち味」と言ったりします。

本校では、そんな「個性」や「持ち味」を子どもたちの「良さ」として捉え大切にする教育を日々実践しています。全校的な取組としては、月1回の「校内人権の日」や12月の「やさしさ・ぬくもり集会」を中心に、自他の「良さ」や「思い」を見つめ合う活動をしています。このような取組の他、学級会等での取組も加え、多くの「仲間」といろいろな「良さ」や「思い」を見つめ合うことによって、自分の「良さ」を自覚し、子どもたちの自己肯定感、自己存在感、自己効力感等を高めながら、学校づくりの取組の重点の一つ、「温かい心で支え、認め合う仲間づくり」の具現化を進めているところです。



これからも様々な教育活動を通して、子どもたちの「仲間」の「良さ」や「思い」をしっかりと見つめる目を養いながら、「仲間」を大切にしようとする「思いやり」の「心」を育み、周りに左右されることなく、いけないことにはしっかり「No!」や「Stop!」が言える「きびしさ」をもった子どもの育成にも努めていきたいと思ひます。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也

甲南第一小学校 教育後援会

5月26日、教育後援会常任委員会が開催され令和4年度の役員様を選出されるとともに事業計画のご協議をいただきました。

会 長	服部 智郁 様
副 会 長	山本 英雄 様
会 計	堀内 幸市 様
会計監査	呉竹 弘一 様
会計監査	山際 勝司 様

毎年、多数の学区民の方々よりご賛同を頂戴し、本校教育へのご支援、ご援助をいただいております。

改めて深くお礼を申し上げますとともに、「地域の宝」としてお預かりしている子どもたちの教育に一層役立てていきます。

プール開き

コロナ収束までには、まだ時間がかかりそうですが、しっかりと感染対策をしながら、令和4年度の水泳学習がスタートしました。そのはじめとして、6月14日に全校放送でプール開きを実施しました。水泳がうまくなる5つの「秘訣」とうまくなるための3つの「約束」を子どもたちに伝えました。しっかり練習して、まずは少しでも長い距離が泳げるようになってほしいと思ひます。



創立121周年

月日が経つのは早いもので、昨年度、創立120周年をお祝いしてから早一年が過ぎました。7月1日には創立121年目を迎えます。これからも、子どもたちの学びを大切にしながら第一小の歩みを着実に前に進めていきたいと思ひます。

ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに